



**STANDARD
TOKYO**

2026年4月30日

各位

会社名 HSホールディングス株式会社
代表者 代表取締役社長 原田 泰成
(コード 8699 STANDARD)
問合せ先 取締役 松村 恭也
TEL 03-4560-0398(代表)

2026年3月期業績と2025年3月期業績との差異並びに 剰余金の配当に関するお知らせ

2026年3月期(2025年4月1日~2026年3月31日)の業績と前期(2024年4月1日~2025年3月31日)の業績との間に差異が生じました。

また、本日開催の取締役会において、2026年3月31日を基準日とする剰余金の配当を、2026年6月26日開催予定の第69回定時株主総会に付議することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期の業績と2025年3月期の業績との差異について (連結業績)

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
2026年3月期の連結業績 (A)	57,879	△363	17,713	14,688
2025年3月期の連結業績 (B)	37,766	△1,106	15,122	12,100
増減額 (C)=(A)-(B)	20,113	742	2,591	2,587
増減率 (%)	53.3%	-%	17.1%	21.4%

(個別業績)

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
2026年3月期の個別業績 (A)	7,225	6,519	7,956	6,590
2025年3月期の個別業績 (B)	5,965	5,359	6,332	4,905
増減額 (C)=(A)-(B)	1,259	1,159	1,624	1,685
増減率 (%)	21.1%	21.6%	25.7%	34.4%

2026年3月期の連結業績は、連結子会社である株式会社 STAYGOLD の業績が好調であったことから営業収益は前期比で大幅に増加し、営業損失も減少しております。また、持分法適用関連会社であるハーン銀行及びソリッド銀行の業績が好調であったことから持分法による投資利益が増加するとともに、円安による為替差益も増加し、その影響で経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は大幅な増益となっております。

個別業績につきましては、関係会社からの配当金の受領が増加したこと、円安による為

替差益が増加したことから増収増益となっております。

2. 剰余金の配当の内容

	決定額	直近の配当予想	前期実績 (2025年3月期)
基準日	2026年3月31日	同左	2025年3月31日
1株当たり配当金	10円00銭	未定	10円00銭
配当金総額	300百万円	—	300百万円
効力発生日	2026年6月29日	—	2025年6月27日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

当社は、業績に対応した利益還元を行うことを基本方針としておりますが、今後の事業展開と経営体質の強化、財務内容の充実を図るために必要な内部留保を確保しつつ、每期安定した配当を継続していく方針であります。

当期の配当につきましては、ロシア・ウクライナ問題や中東問題などの地政学的リスクや中国経済の失速などに起因する国内外経済の悪化に対する備え、ハーン銀行からの配当受領制限の問題、今後の事業展開に備えた財務内容の充実などを総合的に勘案し、1株当たり10円の普通配当（前期は1株当たり普通配当10円）を2026年6月26日開催予定の定時株主総会に付議する予定です。

なお、次期（2027年3月期）の配当につきましては、業績予想を合理的に行うことが困難であることから、予想配当額を開示しておりません。

以 上